

「脳転移のみの oligometastases 状態の非小細胞肺癌に対する放射線治療成績
(略称：少数個転移/再発癌の研究)」：
医学情報の研究利用について

九州大学病院放射線科・腫瘍放射線治療部門では、がん放射線治療の診療・研究を行っておりますが、このたび、厚生労働省厚生科学研究費補助金：がん臨床研究事業「高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究」班（研究代表者：白土 博樹：北海道大学病院放射線科・教授）の一環として、「脳転移のみの oligometastases 状態の非小細胞肺癌に対する放射線治療成績（略称：少数個転移/再発癌の研究）」（研究課題代表者 兼 事務局：新部 譲：北里大学病院放射線科）の多施設適及的研究を、北海道大学病院、東北大学病院、北里大学病院、がん・感染症センター都立駒込病院、静岡県立静岡がんセンター、九州大学病院の計 6 施設で施行することになりました。なお、oligometastases というのは「少数個の転移/再発のみの癌」で局所治療により生存の向上への寄与があると判断される状態です。調査対象になるのは、非小細胞肺癌の診断にて、初回治療時に脳転移を認め、脳以外には肺にしか癌のなかった方で脳に定位放射線治療、肺には放射線治療もしくは手術が施行された方、および非小細胞肺癌にて肺の癌を手術もしくは放射線治療にて治したのち、脳のみにも再発を認め、脳の再発部位に定位放射線治療を行った方です。調査対象の方の治療実施時期は 1996 年 1 月 1 日から 2008 年 12 月 31 日までとなります。

調査項目は、年齢、臨床病期、病理組織型、治療方法、経過、副作用などです。上記調査項目はすべて既存のデータのみであり、データ上すべての患者さまは匿名化され、お名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何らかの負担が生じることもありませんのでご安心ください。調査したデータは、北里大学病院放射線科にて集計後、上述の厚生労働省研究班にて共同で解析を行います。解析後のデータは破棄されますが、九州大学病院の患者さまの基本データ（匿名化されたもの）は九州大学病院放射線科にて厳重に管理します。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。本研究の調査対象の患者さまで調査に同意されない方はお申し出下さい。このお知らせは平成 21 年 9 月 1 日より 12 月 31 日まで九州大学病院・腫瘍放射線治療部門内に掲示および九州大学臨床放射線科学ホームページ

(<http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/>) に掲載しています。

この件に関しましてご質問などがございましたら、放射線科 塩山 善之 医師もしくは本田 浩 科長にお問い合わせ下さい。なお、問い合わせ方法は下記の電話もしくは放射線治療外来受付にて「少数個転移/再発癌の研究」と伝え、連絡をとって下さい。

研究責任者

九州大学病院 放射線科科長： 本田 浩

研究実務担当者 腫瘍放射線治療部門： 塩山善之

電話： 092-642-5695